

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

2

Feb 2026
No.371



【特集】ねぎの魅力 ～露地ねぎ・軟白ねぎ～

**【ミニ特集】JA共済連 令和7年度 山形県小・中学校書道コンクール
第50回ごはん・お米とわたし 作文・図画コンクール**



 耕そう、大地と地域の未来。

JAグループ



特集

ねぎの魅力

～露地ねぎ～
～軟白ねぎ～

JA庄内たがわの『露地ねぎ』は、肉厚で繊維がしっかりとして、シャキッとした歯触りが特徴でお料理の主役になること間違いなしです。『軟白ねぎ』は、辛味がマイルドで甘く、白根部分はもちろん、緑の葉も格段に柔らかいので生でも余すところなく召し上がれます。また加熱することでとろけるような柔らかさが味わえます。



長ねぎ部会 部会長
大沼 隆一さん

水稲栽培に合わせて秋どりの『露地ねぎ』、育苗後のハウスを活用して『軟白ねぎ』を栽培しています。春どり・夏どり・秋どりと周年で栽培できる『露地ねぎ』は、鍋や焼き物、薬味など料理には必須の食材であるため、産地として切らすことなく消費者へお届けしています。また冬になると格別に甘く柔らかさが魅力の『軟白ねぎ』は凍ってしまうと折れやすいため、太く折れにくく栽培することを心掛けています。どちらもβ-カロテンやビタミンCなどが豊富なため、ぜひ召し上がってください。



長ねぎ部会総会
優良生産者表彰

露地ねぎ栽培講習会
軟白ねぎ販売総括会議

露地ねぎ圃場巡回

露地ねぎ目揃え会

軟白ねぎ圃場巡回

軟白ねぎ目揃え会



長ねぎ部会 事務局
今井 香凛
園芸特産指導員

長ねぎ部会では、圃場巡回や栽培講習会、目揃え会を定期的に行っており、新規作付者には園芸指導員が土づくりや定植後の管理方法を重点的に指導するなどフォローアップ体制を確立しています。

新規作付・収量確保に向け全力でサポートしていきます！ご興味のある方は、営農販売部園芸特産課へご相談下さい。

TEL : 0235-64-5831
Email : entoku@ja-shonai.or.jp

●ねぎの栽培フローチャート

月	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月																																							
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																																					
露地	春どり																																	品種：羽緑・陽春の宴			●	●	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲					
	夏どり																																	品種：夏扇パワー・大地の響き			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	秋どり																																	品種：森の奏で			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
ハウス軟白	11～12月どり																																	品種：大地の響き・ホワイトソード			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	1～2月どり																																	品種：冬扇3号			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3月どり																																	品種：冬扇3号			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

●: 播種 ▲: 定植 ⊕: 土寄せ II: フィルムセット

喜んでもらえるように

温海支所管内 「女性部マフの会」の皆さん

会話を楽しみながら制作しています!



私たち「マフの会」は、JA庄内たがわ女性部温海支部の手芸が好きな27人が、月1回のペースで温海支所に集まり、「認知症ケアマフ」作りをしています。昨年の9月より活動を始め、女性部員同士で教え合いながらマフ作りを楽しんでいます。ケアマフはカラフルにデザインされた筒状のニットのハンドメイド小物で、両端から手を入れて温め、中のボールや表面のアクセサリを自由に触り、様々な刺激を得るために作られています。認知症の人が認知機能障害からくる不安や孤独感をやわげられるよう暖かな気持ちを込めて編んでいます。作成するときにはとにかく安全に配慮するため規格を守ることに気を付けています。完成した作品は福祉施設や女性部員の家族などに贈っており、喜んでくれたときはとても幸せな気持ちになります。今後もみんなで楽しくマフを編み、地域に貢献できるように活動を続けていきたいです。

あいとキッズ



好きなことをいっぱい見つけて! のびのび成長を!!

おそろいのお洋服でニコ

シール集めに夢中心

ボクサーのような軽快な手足

北部支所(立川)管内 佐藤 花羽ちゃん(7) 杜羽くん(3カ月)

恥ずかしがり屋だけど優しくオモシロい花羽ちゃんは、好き嫌がなく何でも食べるよ! になりたい職業・やりたいスポーツ・行きたい場所がいっぱい! 笑顔が魅力的で手足をよく動かす杜羽くんは、動く犬のおもちゃに興味津々! ミルクをたくさん飲んで大きく成長中!

ファミリーファーム

FAMILY FARM

魅力ある農業へ



南部支所(朝日)管内 清野 学さん(41)

私は、1年前に地元の方から誘われて「農事組合法人中村」に転職し、本格的に就農しました。元々家業である農業に興味があり、会社勤めしながら手伝っていましたが、就農してからは、田んぼの管理を1から10までやるため、覚えることが多いと感じています。特に昨年7月は高温少雨で水が不足し、水管理に苦労しました。農業は想像より大変でしたが、農業法人では分からないことはすぐに相談でき、日々学びながら楽しく農作業が行えます。さらに、給与制であるため安心して農業ができるというのは農業法人にしかないメリットだと思います。今後も、法人として預かっている農地、地域の農業を守っていききたいと思っています。また、担い手不足の解消に向けて、「想い」だけでなく、農業を稼げて魅力のある職業にしていきたいです。

SHONOSEI TRY

従来の方にとらわれず、持続可能な農業を

食料生産科3年 仲川 晃生さん



私の家は鳥海山の裾野に位置する酒田市本楯地区にあり、山からの豊富な水資源の恩恵にあずかりながら、はえぬき、雪若丸、つや姫を栽培している米農家です。高校では稲作の勉強はもちろん将来は複合経営にも挑戦したいと考えていました。

そこで、課題研究の授業で取り組んだのがヤマダイミズアブ堆肥でした。山形大学が食品ロス削減の課題に対し、ミズアブ幼虫を利用し生ごみを分解、そのフンを堆肥として使用する研究を行っており、その堆肥を利用し庄内農業高校でも比較栽培試験を行ってきました。比較試験ではジャガイモやニンニク、ネギなどを栽培しました。今後、化成肥料にたよらない持続可能な農業をしていくためにも今回学んだ事は将来の農業経営にも生かしていきたいと思いました。

私は高校卒業後、東北農林専門職大学に進学し、就農を目指して従来の方にとられない新しい農業に挑戦しつづけていきたいです。



青年部支部間交流会

青年部は1月24日、鶴岡ヤマテポウルで支部間交流会を開いた。盟友や青年部未加入者、JA職員ら約30人が参加し、2ゲームの個人成績を競った。この取り組みは、青年部未加入者を誘い、支部の垣根を超えた交流で青年部を知ってもらう他、組織力の強化を図ろうと毎年行われている。白熱した試合が繰り広げられ、ストライクやスピアなどの好プレイにハイタッチや歓声が上がり盛り上がりを見せた。結果、同スコアで並んだ榎引支部の池田修平さんと藤島支部の上林輝彦さんが1フレームの優勝決定戦の末、上林さんが優勝に輝き、3連覇となった。上位入賞者へ青年部の高橋誠委員長から記念品が贈られた。



藤島女性部全体研修会・フラワーアレンジメント

女性部藤島支部は12月27日、本所で全体研修会を開いた。部員52人が参加し、マツやハボタン、カーネーションなどの花材を使ったフラワーアレンジメントを楽しんだ。この日は、藤島地域でフラワーアレンジメントを嗜む阿部洋子さんが講師を担当した。阿部さんは、「ハボタンを手前に挿し、他の花材で自由に正月の花飾りをつくってみてください」とアドバイスした。参加した部員は、和気あいあいとアレンジを楽しみ、参加者同士で「上手」「華やかだね」と語り合い、親睦を深めた。完成した作品は自宅に飾るなどして観賞を楽しんだ。



JA事業への女性参画拡大を

JAは1月21日、本所で女性総代研修会を開いた。女性総代・JA役員ら約40人が出席し、役員との意見交換の他、JA事業への女性参画拡大による効果について学びを深めた。研修ではJA山形中央会経営部の遠田大亮部長よりJAグループの男女共同参画に関する山形県内の現況を報告した他、女性参画を加速させるための全国のJAの優良事例を紹介した。その後の意見交換では、今後の月山ワイン原料生産の方策や米価格の状況、本支所再編の在り方などJAの各事業に対し女性ならではの着眼点や発想で活発に意見・要望が交わされた。



三川女性部まつり・防災セミナー

女性部三川支部は1月17日、三川町子育て交流施設テオトルで女性部まつりを開いた。この日は、日本赤十字社山形県本部の岩瀬恵美氏を講師に招き「赤十字防災セミナー」を演題に講演を行い、参加した部員約30人が講演に耳を傾けた。普段から日常備蓄や地域を知り、災害発生時は自身の安全を確保し、互いに協力することが重要だという。また、令和6年7月に発生した大雨被害での活動の他、災害用簡易トイレや段ボールベッドの紹介が行われた。女性部員らは段ボールベッドに腰を掛け耐久性や重さなど熱心に聞いていた。同部では今後も、部員同士の交流を深める活動を企画していく。



つや姫・初期茎数確保で高収量目指す

羽黒支所は1月22～23日の2日間、同支所で県産米「つや姫」の栽培認定生産者を対象に栽培技術研修会を開いた。参加した生産者約150人が、2025年産の作況や26年産の高品質米生産に向けた栽培管理を確認した。同支所管内の25年産は、単収が10㍏あたり542㍏と平年並み、1等米比率が97.6%の結果となった。講師を務めた県庄内農業技術普及課の職員によると、25年産は太茎のため登熟能力が高く、倒伏せず収量が確保できたという。栽培管理のポイントとして、高温に対応した作業予定の他、マルチの早期除去や浅植え、適切な水管理などで健苗育成、初期茎数確保に努めるよう助言した。



花き振興に向けてJA役員と意見交換

花き部会は1月26日、藤島地域でJA役員との意見交換会を開いた。出席した部会役員とJA役員16人が、JAへの要望や今後の課題など意見を交わした。池田宏志部会長は「管内の花き生産者は減少しているが、ストックを中心とした一大産地である。今後も、花き産業を盛り上げていきたい」と挨拶した。意見交換では、園特指導員の体制強化と資材店舗との連携強化や花き専用肥料・資材の知識向上と在庫確保、SNSによる情報発信などが挙げられた。小林馨専務は「市場関係者との情報交換を密に行い、異常気象への対策を打ちながら、花きの単価向上、生産拡大に取り組んでいきたい」と話した。



つや姫名人決まる

JAは1月9日、本所で2025年産「つや姫名人」認定証の授与式を行った。管内の生産者1020人のうち、最終審査まで勝ち上がった2人がつや姫名人に認定された。この認定は、組合員の営農意欲向上とブランド米の確立を目指すことを目的に毎年行われている。審査は、一次審査が入庫検査、二次審査が穀粒判別機審査、最終審査は炊飯食味計を用いて外観・硬さ・粘り・バランス・食味値を総合的に審査した。最終審査の結果、つや姫名人金賞に南部支所の上野秀雄さん、名人に同支所の鈴木仁さんが輝いた。今回選ばれた2人の名人米は取引先を通じて全国へ販売される。



キュウリ・持続可能な産地の形成を

下山添野菜出荷組合は1月19日、第53回通常総会を開いた。同組合員約10人が参加し、2025年産の事業報告と26年産の事業計画などを確認した。25年産は、継続可能なキュウリ産地を形成するため耐病性を持ち収量性の高い品種の作付けと機械選果、栽培や出荷調整の省力化体系の確立に向けた活動を行った。また、販売活動ではJAと連携し、地場と関東の値差による出荷振分を行い、優位販売強化に努めた。26年産は、①栽培技術の向上②継続可能な集荷体制の構築③有利販売の為の販売方針に掲げ、圃場巡回や先進地視察、機械選果体制の構築、学校給食への出荷などを計画している。



第50回 ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール



県内の小・中学校から作文213点、図画974点の作品が寄せられ、それぞれ山形県知事賞3点、山形県農協中央会会長賞3点、優秀賞15点の計42作品が選出されました。その中から当JA管内の入賞作品をご紹介します。

山形県知事賞

「体験、研究で学んだお米の大切さ」

鶴岡市立藤島小学校 6年 渡部 ひかり

「おはよう。」と朝台所に入るといつも朝ご飯を作るおばあちゃん、炊きたてのご飯とみそ汁があります。ガス釜で炊いたご飯はふっくらとしていて、つやつやで甘みがありいつもこちそうより先に全部食べてしまいます。「卵焼きと野菜も一緒に食べよう。」とおばあちゃんに言われますが、何もかかない白いご飯が一番おいしくてやめられません。

私の家は農家なので、春になると種まきや田植えが始まります。去年まではお父さんのトラクターや田植え機、コンバインに乗せてもらって見ていましたが、今年は初めて家族みんなで田植えをしました。帽子と運動着、長靴で田んぼに入り、トラクターから苗が入った箱をおろして田植え機に乗っているお父さんに渡したり、空になった箱を水路で洗ったりしました。それを何十回もくり返しながら田んぼに苗が植えられて行くのを見て、田んぼの仕事はこんなに大変なんだ、毎日当たり前のようにおいしいご飯が食べられるのは毎日お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんが一生懸命に田んぼの仕事をしてくれたからなんだと思いました。私が手伝った田植えの後にも毎日の田んぼへの水入れや、除草剤散布、草刈り、水はけを良くするための溝切りなどおいしい米を収穫するためにやるのがたくさんあると聞きました。私が学校に行ったり友達と遊んでいる間も毎日そんな風に仕事をしてくれていることにありがたさを感じていました。

五年生の時に手で田植え、稲刈りを初めて体験し、今年は家で体験したことがきっかけでさらにお米のことを知ってみたいとなり、夏休みの自由研究で「世界の米料理」について調べました。私は、ご飯を食べている国は日本や中国、韓国だけなのかと思っていましたが、世界の五十ヶ国以上で食べられていてその食べ方はたくさん種類があることを知りました。また、日本の米はジャポニカ米という種類に分けられ白いご飯が基本ですが、他にインディカ米、ジャバニカ米という種類があり、それぞれ見た目や食感が違いがあり食に合わせて料理されていることも知りました。調べていくうちに他の国で食べられていたご飯も食べてみたいとなり、お母さんと材料を買って行ってハワイで食べられていたココモコを作って食べました。自分で作った料理はいつも作ってもらって食べる料理とまた違って一口一口大事に味わって食べようという気持ちになりました。とてもおいしく感じました。

お米にかかわる体験研究をしたことで、毎日当たり前のように食べていたご飯は家族やたくさんの方の努力のおかげで食べられること、お米は私たちの生活に欠かせないものでありとても大切な食べ物であることを学びました。ご飯が食べられる幸せと家族に感謝の気持ちを持って大切に食べていこうと思います。

作文部門

優秀賞

「一粒のお米のキセキ」

三川町立東郷小学校 5年 佐藤 衣鞠

私が生まれて初めて口にした物は、お米を柔らかくした重湯だったそうです。お母さんにだかれながら飲んだ一口が、私とお米の最初の出会いだと知って、とても不思議で心がぼかぼかしました。私は生まれた時からお米にパワーをもらっていたんだと思うと、すごくうれしくなりました。

五年生になって田植えの学習をしました。田んぼのどろに足を入れた時、ひんやりして足がぬけてくるととてもびっくりしました。転びそうになりながら苗を植えていくと、田んぼに小さな緑の列が出来てきました。その景色はとてもきれいで、なんだか胸がいっぱいになりました。家に帰り田植えの話をする時、「今日の授業で植えた苗は一粒のお米から始まるお米作りのおどろき、キセキの様だと思いました。昔の田んぼ作りは全部人の手でやってたとき、水を運んだり草をかったり、力も時間もたくさんかかったそうです。今は田植え機やトラクターがあるけれど、昔の人の努力があったから今もお米作りが続いているのだと思いました。

家でも私はお米をどく手伝いをしています。冷たい水でお米をどくと、白くにごった水が広がっていきます。つぶつぶを大切に扱っていかないと、「これがご飯になるんだ。」とつぶつぶを大切に扱ってお母さんと作ったおにぎりをほおばった時、口いっぱい広がったあまさと温かさに「やっぱりお米って最高。」と、パワーがあふれてきました。

私が住む町は庄内の真ん中の米どころです。きれいな水や豊かな土、昼と夜の気温の差がおいしいお米を育ててくれます。お父さんは毎朝早くから田んぼに行き、真っ黒に日焼けしながら「つや姫」や「はえぬき」を育てています。その姿はかっこよくて私の自慢です。けれど今は令和の米不足と言われています。暑すぎたり雨がふり過ぎたりして、お米が上手く育たない事があると聞きました。ニュースでお米が高くなったり、足りなくなると知ると、「もしこはんが食べられなくなったらどうしよう。」と心から心配になります。毎日あたり前に食べているお米は、自然と人が力を合わせてやっとならざるものだと感じました。

私は登下校の道で田んぼを見るのが大好きです。春は水が空を映し、夏は緑のじゅうたんになり、秋には黄金色にかがやきます。その色の変化を見ていると「お米も生きています。」と思えます。そしてその成長を見守ることが出来る私はとても幸せだと感じます。まだ今年の稲刈りはしていません。けれどまた今年のお米が来年の種になり未来へつながっていく事を思うと胸がジーンとなります。一粒のお米から始まる命のつながりは、私たちが生きるための大切な宝物です。

作品をお寄せ下さった小・中学生の皆さん、ありがとうございました。

JA共済 令和7年度 山形県小・中学生 書道コンクール

県内1,581点の応募のうち、当JA管内の児童・生徒の力作が多数受賞しました！

全共連山形県本部運営委員会会長賞

山形県知事賞作品

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

山形県知事賞

学校特別賞

鶴岡市立櫛引東小学校

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

半紙の部 金賞作品

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

茶幅の部 金賞作品

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

二年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

四年 菅原 恋那

六年 清和 果暖

庄内たがわ産直めん農マルシェ 2・3月イベントのお知らせ

2/13(金)~15(日)

スイーツ販売
スイーツバイキング

好きなスイーツ
遊び放題!

1個390円(税込)

その他生産者手作り商品もございます。

2/21(金)~23(日)

月山ワイン
月山ワインフェア

(原液・ジュース含む)

商品10%割引

専用箱・袋などは対象外

2/28(金)・3/1(日)

ひなまつり
フェア

菱餅、ぼん菓子販売・ひな菓子販売
葛田の甘酒、Aコープ未こうじの甘酒各10%割引

SNSも
チェック
してね!



X (Twitter)
@jashonai730



Instagram
ja_shonai.marche



LINE ID
@498zaito

JAカードでお買い上げの方は **請求時に5%割引!**

10月から3月までの営業時間9:00~17:00(定休日:1/1~3, 1~3月の第2・第4水曜日)
なお、営業時間は諸事情により変更になる場合があります。変更の際は、ホームページなどにてお知らせします。
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協会の会員を随時募集しています! **オンラインショップ** 産直めん農マルシェ



今年度も「JA庄内たがわ女性部藤島支部」の皆様よりたくさんのタオルを頂きありがとうございました。
手指の機能訓練としてタオルを縫い合わせた雑巾作りやタオル体操など、様々な場面で活用させて頂いております。

総務部福祉介護課 TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166 E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp

俳句教室の休止について 諸事情により、俳句教室を休止とさせていただきます。
毎号楽しみにされている皆様には大変申し訳ございませんが、ご了承下さい。

「心の声」3月号投稿のテーマ
「卒業シーズン。あなたが卒業したいと思うことは?」

【応募方法】下記の①~③を郵便はがき・Eメールにご記入の上ご投稿ください。①テーマの答え(本紙やホームページ等で掲載致します)②住所・氏名・年齢・電話番号③広報誌の感想、JAへの意見・要望など

【あて先】JA庄内たがわ広報係 電話999-7611
〒999-7611
鶴岡市上藤島字備中下3-1
E-mail kouhou@ja-shonai.or.jp

【しめきり】令和8年3月31日(火)
当日消印有効
※投稿頂いた方の個人情報、目的以外には使用いたしません。

今月のプレゼント
ソレイユルバンセミドトライ 1名様

- 議案報告
令和8年1月29日(木)
理事会だより
- 〔議案〕
- 第1号 令和7年度12月末実績検討について
 - 第2号 令和7年度上半期決算監事監査にかかる監事監査指図書に対する回答書について(案)
 - 第3号 庄内たがわ農業協同組合定款の一部変更について(案)
 - 第4号 定款附属役員選任規程の一部変更について(案)
 - 第5号 固定資産の処分について(案)
 - 第6号 臨時総代会の開催について(案)
 - 第7号 臨時総代会の附議事項について(案)
 - 第8号 役員候補者推薦日程について(案)
 - 第9号 令和8年度事業計画「文章編」について(案)
 - 第10号 令和8年度水田農業対策にかかる対応方針について(案)
 - 第11号 外部出資の償却について(案)
 - 第12号 柳引農村工業農業協同組合連合会の解散について
 - 第13号 理事と組合間の利益相反取引の承認について(案)
- 以上13議案、慎重に審議され原案通り決定されました。
- 〔報告事項〕
- ・組合員の異動について
 - ・令和7年度総代研修会の開催について
 - ・令和7年度下期座談会開催要領について
 - ・株式会社庄内の解散について
 - ・農あいとサービスの第3四半期決算について
 - ・羽黒・のうさよう食品加工第3四半期決算について
 - ・ALM委員会の協議結果報告について
 - ・令和8年度職員採用内定者について
 - ・令和8年度連続職場離脱の進捗状況について
 - ・大口貸出先状況報告について
 - ・令和7年度産米追加工算について
 - ・令和7年度産米追加工算について
 - ・JA庄内たがわ広域水田農業推進協議会報告について
 - ・その他

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

令和8年1月9日

庄内たがわ農業協同組合

代表理事組合長 海藤 喜久男

最近、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきています。新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与対策（以下「マネロン対策」）の重要性が益々高まっています。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことといたします。

このたび、信用部貯金資金課にマネロン・金融犯罪対策リーダーを設置し、組合全体としての取組みの定着化・高度化に向けて、職員の先頭に立って取組みを進めてもらう予定です。私を含め常勤理事もマネロン・金融犯罪対策が組合内で徹底されるよう指揮のうえ、組合員・利用者の方に安心して当組合を利用いただけるよう取り組んでまいります。

JA庄内たがわ長ねぎ部会

私たちJA庄内たがわ長ねぎ部会は生産者80名が露地約900㎡、ハウス軟白7,400坪で長ねぎを栽培しております。12月から3月だけの「雪中軟白ねぎ」は雪の降り積もる庄内地域のハウス内で土寄せをせずに、専用フィルムなどで覆って白い部分を作るため、甘さと柔からさが特徴。ぜひ皆さんに様々な調理方法で味わって頂きたいです。



「心の声」

私は、今年一年を穏やかに過ごしたいと思えます。イライラやクヨクヨしても一日です。ララックスしてニコニコしても一日です。だったら「クヨクヨせず笑顔で毎日過ごす」を目標にして日々を穏やかに過ごします。 K・Yさん【鶴岡市】

今年娘が中学生になります。学校生活が楽しめるように全面協力します。 H・Sさん【鶴岡市】

2026年は午年。
どんな一年にしたいですか？

「今年も健康で在りたい」が一番です。趣味の大菊の種類を増やしたいと苗のカタログを眺め今から思案しています。管理に情報交換しつつ何とか大輪を咲かせたいものです。

旅行はその次です。 M・Hさん【庄内町】

夜眠れなくても仕事などによる規則正しい生活ができるようにしたい。 Y・Tさん【埼玉県】



午にあやかっってなんでももうまくいく年になれば新しいチャレンジができるかも

N・Sさん【鶴岡市】

2026年午年がスタートしました。私はとっても楽しみにしております。それは、1月早々誕生日を迎えたからです。又2026年も私なりの夢や目標をもち家族の健康と、まず私自身が元気に何事もポジティブに挑戦する一年でありたいと思っております。

Y・Sさん【鶴岡市】

男ですが、手芸にチャレンジしてみたいです。

H・Kさん【愛知県】

午年の一年を迎えました。「馬」は穏やかな性格ですが、独立心が強い生き物です。私も馬のように、自立してたくましく生活していきたい。

M・Kさん【京都府】

今年始めの検診結果 あ〜最悪もつと自分の体を大事にしなくっちゃ知らず知らずのうちに悲鳴を上げてる

まだまだじ〜じと元気でいたいから今年にはエネルギーチャージで温泉地に行ったりイライラしないように相手にも思いやりをですね〜

E・Sさん【鶴岡市】